

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 251 号	氏名	本 多 隆
学位審査委員	主 査 中 島 憲一郎 副 査 中 山 守 雄 副 査 黒 田 直 敬		
論文審査の結果の要旨			
<p>1. 研究目的の評価 本研究は、現在なお大きな健康被害が継続している PCB 汚染の実態解明、特に長崎県における汚染実態を解明する研究であり、目的は十分に妥当である。</p> <p>2. 研究手法に関する評価 長崎県の離島及び非離島で経年的に採取した底質及び大気試料、あるいは不法投棄された廃油について、高感度な GC-MS 法を駆使して多様な PCB 同族体を定量し、これらのデータを PCA 及び CMB の統計学的解析法で解析し、実態を解明したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3. 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、過去の環境汚染物質の蓄積場所となる底質は、造船業や水産業が盛んである長崎県の産業構造に由来する KC600 の汚染が大きいことや、大気では夏季の濃度が冬季の濃度よりも約 3 倍高くなり、気温の影響を受けること、また、離島地区が非離島地区よりも 2 - 3 倍高濃度であり、大陸からの影響が示唆されたこと、さらに不法投棄の廃油が環境を汚染することなどを解明したことは薬学における健康科学研究の進歩へ寄与すること大である。</p> <p>以上のように本論文は薬学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（薬学）の学位に値するものと判断した。</p>			